

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度 第1回 豊島区収納対策本部
事務局(担当課)		区民部収納推進担当課長
開催日時		令和4年7月29日(金) 午前11時00分～11時55分
開催場所		庁議室
議 題		1. 令和3年度 収納推進基本方針実施状況について (資料1～3) 2. 令和4年度 収納推進基本方針(案)について(資料4) 3. 私債権等の状況について(資料5)
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 極めて専門的かつ内部的な内容を含み、行政情報公開条例第7条 第6号に該当するため
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 極めて専門的かつ内部的な内容を含み、行政情報公開条例第7条 第6号に該当するため
出席者	委 員	区長(本部長)、齊藤副区長(副本部長)、高際副区長(副本部長・文化商工部長事務取扱) 政策経営部長、区民部長、環境清掃部長、子ども家庭部長、都市整備部長、会計管理室長(会計課長)、教育部長、財政課長、収納推進担当課長(税務課長)、国民健康保険課長、高齢者医療年金課長心得、介護保険課長、生活福祉課長、子育て支援課庶務担当係長(代理出席)、住宅課長
	そ の 他	
	事 務 局	区民部収納推進担当課長
提出された資料		資料1 令和4年度 税・保険料の収納率の状況について(過去3か年の比較) 資料2 23区の収納率と順位(令和元年度・令和2年度) 資料3 税・保険料の収納状況等について 資料4 令和4年度 収納推進基本方針 柱立(案) 資料5-1 令和3年度私債権等管理支援事業の実績について 資料5-2 債権別収入未済額及び不納欠損額 資料5-3 私債権等の所管課(一覧表) 資料6-1 令和4年度 収納対策本部年間スケジュール(案) 資料6-2 令和4年度 収納対策本部・部会名簿

審 議 経 過

案件 1：令和 3 年度 収納推進基本方針実施状況の報告について

(1) 案件の説明

令和 3 年度 収納推進基本方針実施状況の報告について、資料 1、2、3-1 を事務局から説明、資料 3-2 から 3-4 を国民健康保険課長、高齢者医療年金課長、介護保険課長から説明。

(2) 主な意見と質疑

【本部長】

4 部署とも一生懸命やってくれた結果で、“過去最高の収納率”などの状況。それを踏まえてどうだろうか。

【会計管理室長】

安定的な財源が確保でき、資金需要も落ち着いた形で進められ、年度当初を除けば、金融機関からの一時借入れもする必要がなく、各部署の努力に感謝している。

【区民部長】

素晴らしい結果だと思っている。これは各課長をはじめ、職員の頑張り工夫が結果に現れたものと考え。特に、行政サービスのデジタル化が効果を上げていると思う。また、外国人滞納者対策にいろいろ工夫が見られる。そのほか、介護保険課の全課態勢による電話催告など、地道なこともしっかりやっており、職員の皆さんの意識の高さが結果に表れたことが分かる。

【齊藤副本部長】

4 公金、収納率という数字は改善しているが、今、区民部長からもあったように、デジタル化や外国人滞納者への対策は、本区にとって大きな課題であり、目標だと思う。数値で表すのは難しいかもしれないが、電子マネーについては収納件数の割合が昨年よりも増えた等ということも含めて、デジタル化の効果と、もうひとつ、外国人滞納者対策について、外国人の人口が減ったことの影響について、その 2 点が収納率の向上に与えた影響はどうか。

【本部長】

外国人に関して。各課とも口座振替が最も効果的な徴収方法だが、外国人に対しても同じように行っているのか。

【収納推進担当課長】

金融機関の口座を持っている方は口座振替も可能。

【本部長】

外国人の方も、後になってから制度を理解してもらうのは難しいと思うので、払うべき税金や保険料は口座振替で徴収できる形を徹底して推進するのが望ましい。

【高際副本部長】

昨年の報告を聞いたときにも感心したが、今回も改めて、各課が区民目線で知恵を出し合って、いい意味で競い合いながら分かり易い表現への変更や動画作成、封筒の開けやすい加工など、様々な工夫をしていると感心した。そして、ただ徴収するだけでなく、コロナ禍に配慮し、分割納付の相談や保健福祉部との生活再建連携など丁寧に対応して

いることもわかりましたし、職員の努力に感謝している。最近、窓口の対応を褒めていただける「区民の声」も見かける。これらの取り組みが他の部署のいい見本になると思う。

【本部長】

このような良い結果を出来るだけ職員全体に知ってもらいたいと思って、次週の庁内放送で伝えたいと思う。

それと、もう一つ。先日の新聞報道によると、文京区は先の参議院議員選挙において全国で投票率が最も高かったと。選挙の投票率と税金の収納率で関係があるかどうかは色々だろうが、記事によれば、区民に税金の使い道を決める政治家を監視する意識が高い、選挙に関心を持っているとある。今回の資料を見ても文京区は収納率も極めて高く、上位にある。そういう関連を鑑みると、行政側も積極的に働きかけて区民の意識を高めていくことが、よりよい街づくりにつながっていくのだと思う。そういう意識を全ての部署に持ってほしい。

(3) 結論

令和3年度 収納推進基本方針実施状況の報告について、一同了承。

案件2：令和4年度 収納推進基本方針（案）について

(1) 案件の説明

令和4年度収納推進基本方針（案）について、事務局から説明。

(2) 主な意見と質疑

【齊藤副本部長】

ここに挙げた5つの柱は豊島区の特性をよく捉えている。また、柱として第一に掲げているデジタル化の推進は、今年度しっかり進めてほしい。4年度の方針として適切であると考えている。

【高際副本部長】

福祉との連携を強力に進めてほしい。

【本部長】

全般に関わることとして、現年度分の徴収に力を入れてほしい。滞納繰越分も徴収の必要はあるが、他区の収納率を見ていると、滞納繰越分よりも現年度分に成果を出した区が上位に来ているので、ぜひ現年度分に注力してもらいたい。

(3) 結論

令和4年度収納推進基本方針（案）について、一同了承。

案件3：私債権等の状況について

(1) 案件の説明

私債権等の状況について、事務局から資料5を説明。

(2) 主な意見と質疑

【齊藤副本部長】

私債権の管理を弁護士を活用してやるのは、区では初めての試みであるが、マニュアルが整備できて各課に相談する窓口が出来たことは、債権所管の各課において、どのような反応があるか。

【生活福祉課長】

当課は件数、債権額が大きい部署ではあるが、専任のスタッフを配置がないため、生活保護の地区担当員が1件1件対応している状況であり、彼らは実態調査、保護費の支給、自立助長などの業務を抱えているため、回収となると難しい状況にある。これまでノウハウはあったが充分に分かっていなかったところもあった。今回、弁護士さんに相談できる機会を持てるようになり、手掛かりになるものが見えてきたかなというのが実感である。

【本部長】

事例を積み重ねながら、同時に、同じようなことを繰り返さなくて済むような先手先手の対策が大切なので、債権が発生しないような仕組み作りもお願いしたい。

【国民健康保険課長】

今回の事業開始を受けて、当課職員もデータの精査に取り組むことも始めている。資格喪失の手続きがしっかり出来ていれば債権が発生しない事例もあるので、今、話にあったように未然に防ぐ策を講じてまいりたい。

【子ども家庭部長】

子育て支援課や保育課にも債権がある。弁護士の相談を受けながらマニュアルを見直したことが非常に大きい。それを受け電話催告の取り組みなどの気運が高まっている。日ごろからの対応が必要なので職員と頑張っていきたい。

(3) 結論

私債権等の状況について、一同了承。